

単元名

めざせ！要約マスター

「もうどう犬の訓練」（東京書籍 3年）

本単元で育成する資質・能力

課題発見力

思考力・判断力・表現力

主体性

自己肯定感

## 1 単元について

## 【考え・基礎知識】

・リーフレットの構成や要約について理解する。

## 【つながり】

・働く犬についてリーフレットで紹介する。

## 【応用・ひろがり】

・知りたい事柄について調べるために関連する本や資料を読み、必要な情報を集め、目的に応じて分かりやすく要約することを通してまとめ、地域に発信する。

## 【単元観】

本単元は、小学校学習指導要領国語のC「読むこと」（第3学年及び第4学年）（1）エ「目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を受けて設定したものである。言語活動は、（2）イ「記録や報告の文章、図鑑や事典などを進んで利用すること。」に対応する。本単元では、働く犬について調べたことをリーフレットにまとめて紹介する活動を通して、だいたいな言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を要約することができることをねらいとした。

本教材は、盲導犬の訓練について、盲導犬の定義や役割、訓練の段階を、順序立てて説明した文章である。「どのような訓練が行われるか」ということに即して説明しているため、だいたいな言葉や文を見つけやすく、段落ごとの内容をとらえやすく、要約を初めて学習する児童に適している。また、本説明文は「情報活用」の系統として位置づけられている。説明文を読んで興味・関心を持ったことを、本や資料などで調べる学習活動を取り入れ、その単元に設定された目的や課題に応じて情報を活用することを目指している。

## 【児童観】

児童は、これまでの学習で、段落ごとに書かれている内容をとらえたり、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけたりしながら文章を読み取る学習を行ってきた。一学期に行った「自然のかくし絵」の単元末テストの平均点は97.5点で説明文の読解の基礎的な力を身に付けていると言える。しかし、学期末テスト（説明文）の平均点は75.7点であった。これは、初見の文章を読んで事柄の順序や大事な言葉を見つけながら全体の内容を読み取る経験不足や単元で習得した力を活用できていないことが要因の一つではないかと捉えている。

資質・能力に関わる児童アンケートでは、87%の児童が「思考力・判断力・表現力」に肯定的な思いをもっている。特に、表現力については、大切なことをメモするなど自分なりに工夫してノートを書くことに意欲的に取り組んでいる。

「書くこと」については、相手や目的に応じて、必要なことを考え、段落相互の関係や文末表現に注意して書くことができるようになってきている。児童自身も分かりやすく工夫して書く力や相手を思いやる力が身に付いたと自己の成長を肯定的に捉え、日記等に生かすことができている。

## 【指導観】

本単元では、「はたらく犬パーフェクトブック」を作る活動を通してだいたいな言葉や文を見つけ、書かれている内容を要約する力をつけることを目指している。ここでいう「ブック」とは、はたらく犬ごとに作成したリーフレットをまとめたものである。働く犬についてくわしく知りたいと思ったことを本などで調べ、見つけただいたいな言葉や文を相手や目的に応じて要約することを通して、本単元の目標を達成させていく。

単元構想としては、単元前に、学級活動「本と友だち」で図書室の先生から「働く犬についての本の貸し出しが少ない。もっと四季が丘小のみんなに読んでもらうためにリーフレットをつくって興味をもてるようにしてほしい。」という依頼を受けたことから、言語活動の必然性につながる状況を設定する。第一次では、設定した言語活動の解決のために、文章の要約とはどういうことであるか、またモデルを通じてリーフレットがどういうものなのかを知り、リーフレットを作成するためにだいたいな言葉や文を短くまとめることの必要性に気付かせ、活動のめあてをしっかりと持たせていく。教材文の読み取りについては、段落ごとに何が書かれているのかを理解するために、既習事項をもとに段落相互の関係を大まかにつかませる。まずは、犬の成長を表す言葉や順序を表す言葉に着目し、それぞれの形式段落がどのような順番で並んでいるかを整理し、リーフレットの構成を考えることにつなげる。次に、繰り返し出てくる言葉に線を引く等、段落ごとにだいたいな言葉や文を見つけながら、リーフレットに短い言葉でまとめていく活動を行う。ここでは、児童が大事なことを捉える力を発揮できるように教科書の「文章をまとめた例」と教科書の文章とを読み比べて、どの部分が省略されたり、書き換えられたりしているのかを確かめ、要約の仕方の理解につなげていく。

第二次では、第一次の学習で習得したことを活用・発揮する場として、紹介したい働く犬について、対話を通して考えを広げたり深めたりできるよう、2人1組で本や資料から調べたいことの答えとなるだいたいな言葉や文を見つける。付箋を貼る等を行い、情報を収集した後、それらを分かりやすく書き換えたり、言葉を補ったり、あるいは必要に応じて図や絵を加えたりして、個人でリーフレットにまとめていく。段落ごとに、文章のどれが中心文やキーワードなのかを考え、それに着目し、だいたいなことを元の文章の構成や表現をそのまま生かして短くまとめたり、自分の言葉で短くまとめたりする力を身につけさせることで、目的に合わせて要約する力を育成したい。

単元後は、本単元で習得した要約する力を理科や社会、総合的な学習の時間等で調べたことを新聞やレポートにまとめる活動において、活用・発揮できるような場を設定していく。

また、分からないことを調べるときや必要な情報を集める時に、百科事典や図鑑等を使って進んで調べようとする意欲を育てたい。

## 2 単元の目標

- 働く犬について関心を持ち、いろいろな資料を進んで読み、調べようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- 目的に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約することができる。 【読むこと エ】
- 文章を読み、指示語や接続語の役割を理解することができる。 【伝言 イ（ク）】

### 3 単元の評価規準

資質・能力 思考力・判断力・表現力	目的や必要に応じて情報を収集し、だいたいな言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を短くまとめて要約している。	
国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
イ「記録や報告の文章、図鑑や事典などを進んで利用する言語活動」を通じた指導		
働く犬について関心を持ち、いろいろな資料を進んで読み、調べようとしている。	目的に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約している。エ	文章を読み、指示語や接続語の役割を理解している。 イ(ク)

### 4 指導と評価の計画(国語 全12時間)

次	時	学 習 活 動	評 価	
			教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
単元前		課題の設定(学活) 「本と友だち」	「としょかんねずみ」みたいにほくも本をかいて、図書室に置いてもらいたいな。 働く犬シリーズの本はたくさんあるのに、あんまり読んでもらえていないのはもったいないな。	
第一次	1	課題の設定 ・学習のゴールイメージを持ち、単元のめあてを設定するとともに学習計画を立てる。 「もうどう犬の訓練」を読み、文章の内容をリーフレットにまとめよう。	【関】リーフレットを作成することに関心を持ち、リーフレットのモデルを分析し、単元のゴールを明確にすることができる。(発言・ノート)	図書室の先生が困っているな。働く犬について興味を持ってもらうためにリーフレットを作るとよさそうだな。リーフレットって本に書かれていることがばっと見てわかるんだね。でも、リーフレットってどうやってつくるんだろう。リーフレットに書かれていることを整理したい
	2	情報の収集 ・リーフレットの見出しをとらえるため、訓練の内容を大まかにつかむ。	【読】順序や期間を表す言葉を手がかりに文章の組み立てをとらえることができる。(発言・ノート)	文章は組み立てを意識すると読み取りやすいな。
	3	情報の収集 ・だいたいな言葉や文を手がかりに最初の訓練の内容を読み取り要約する。	【読】だいたいな言葉や文を手がかりに、訓練の前半の様子を読み取ることができる。(発言・ワークシート)	だいたいな言葉を見つけると、話の大体が分かるな。
	4	情報の収集 ・だいたいな言葉や文を手がかりに次の訓練の内容を読み取り要約する。	【読】だいたいな言葉や文を手がかりに、訓練の後半の様子を読み取ることができる。(発言・ワークシート)	前時と同じで、だいたいな言葉を見つけると読み取りやすいな。
	5 本時	情報の収集 ・だいたいな言葉や文を手がかりに訓練の心構えや仕上げの内容を読み取り要約する。	【読】文章の要点や細かい点に注意して、要約することができる。(発言・ワークシート)	【思考力・判断力・表現力】 ・目的や必要に応じて情報を収集し、だいたいな言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を短くまとめて要約している。(発言・ワークシート)
	6	整理・分析 振り返り ・教材文の内容をリーフレットにまとめ、これまでの学習を振り返る。	【読】文章の要点や細かい点に注意し、言葉を補ったり書き換えたりしながら内容を要約してまとめることができる。(発言・ワークシート)	要約するときには、だいたいな言葉を見つけて、言葉を書き換えたり足したりすることが大切だな。リーフレットの書き方のコツをつかんだよ。
第二次	7	課題の設定 ・働く犬について詳しく知りたいことを考え、調べる方法を決める。 「はたらく犬パーフェクトブック」を作って分かりやすく紹介しよう。	【関】リーフレットに書くことを決め、情報の調べ方や集め方に意欲をもって取り組んでいる。(発言・ノート)	情報は多いほうがいいリーフレットが書けるな。どうやって情報を集めようかな。
	8	情報の収集 ・関連する本を読み、情報を集める。	【読】知りたい事柄について調べるために関連する内容の本を選んで読んでいく。(発言・ノート)	本を読んで大切なところに付箋を貼ったり、メモしたりして情報をたくさん集めよう。
	9	情報の収集 ・関連する本を読み、情報を集める。	【関】知りたい事柄を調べるために本や資料を読み、必要な情報を集めている。(発言・ノート)	いらぬ情報はないかな。整理したほうが分かりやすいぞ。
	10	整理・分析 ・調べて分かったことを整理する。	【読】調べて分かったことを整理することができる。(発言・ノート)	「盲導犬の訓練」をリーフレットにまとめた時のことを思い出して要約しよう。
	11	まとめ・創造・表現 ・だいたいな言葉や文を落とさないように要約する。	【読】紹介するためにだいたいな言葉や文を落とさないように要約することができる。(発言・リーフレット)	いることは書いてあって、いらぬことは書いていない。そんなリーフレットが書けたぞ。
	12	振り返り ・作成したリーフレットを読み合っ感想を交流し、学習を振り返る。	【読】書いたはたらく犬なんでも図鑑を読み、分かりやすく要約できているか確かめている。(発言・リーフレット)	【思考力・判断力・表現力】 ・目的や必要に応じて情報を収集し、だいたいな言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を短くまとめて要約している。(発言・ノート)

単元後	まとめ・創造・表現	総合的な学習の時間	国語の学習で学んだ要約や分かりやすくまとめて紹介することを、他の教科の学習でもいかして新聞やパンフレットなどにまとめてみたいな。

## 5 本時の目標

・文章の要点や細かい点に注意して、要約することができる。【読むこと エ】

## 6 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ・予想される児童の反応 ◆主体的な学びを促す教師の手立て	評価規準（評価方法）
課題の設定	1 前時を振り返りながら、意味段落（四）を読み、だいたいな言葉や文を探しながら音読する。（6分）	◇ 全体読みと一人読みをテンポよく行う。 ◇ 教材文の⑬・⑭のだいたいな言葉に線を引く。	
	2 本時のめあてを確認する。（5分）	◇ 音読からめあての設定につなげさせる。	
情報の収集	⑯「もうどう犬にふさわしい心がまえ」について書かれていることを要約することができる。		
	3 既習事項をもとに、要約する。（7分）	◇ 線を引いた言葉や文をもとに要約する。  もうどう犬にふさわしい心がまえとは、どんなことがあってもおこったり、ほえたり、あばれたりしてはいけないことです。 また、人にあまえたり、じゃれたり、おいしそうなおいにする方に行こうとしたりしてはいけないことです。  ・文章が長いので、もっと短くしたいな。 ・どれも大事な言葉なので、省くのは難しいな。 ◆ 児童の要約文を板書したり、教材文を電子黒板に提示し、線を引いたりすることで、もっと短く簡潔に要約文を書くことの必要感を視覚的に気付かせる。 ◆ だいたいな言葉や必要のない言葉を吟味し、必要のない言葉については思い切って省くことや要約のまとめ方について想起させ、自分だったらどのように要約するかを交流する。	【読】 ・文章の要点や細かい点に注意して、要約することができる。（発言・ワークシート）
4 全体で交流する。（5分）	◆ 児童の要約文を板書したり、教材文を電子黒板に提示し、線を引いたりすることで、もっと短く簡潔に要約文を書くことの必要感を視覚的に気付かせる。		
整理・分析	5 グループで交流する。（6分）	◆ だいたいな言葉や必要のない言葉を吟味し、必要のない言葉については思い切って省くことや要約のまとめ方について想起させ、自分だったらどのように要約するかを交流する。	【思考力・判断力・表現力】 ・目的や必要に応じて情報を収集し、だいたいな言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を短くまとめて要約している。（発言・ワークシート）
	6 交流したことをもとに要約する。（6分）	要約のまとめ方のコツ A 元の文章の構成や表現をそのまま生かして短くまとめる。 B 言葉を補ったり書き換えたりして自分の言葉で短くまとめる。	
まとめ	7 全体で交流する。（5分）	◆ 初めの要約文と交流したことをもとに修正した要約文を比べ、気付いたことを交流する。	
	8 自己の学びを振り返る。（5分）	◇本時のねらいである「読むこと」や「付けたい力」を意識した振り返りを書けるように視点を明確にする。	
振り返り	・ぼくが初めに書いた要約文は、教科書の文章とあまり変わらなくて、これでは要約できていないなあと思いました。～たり、～たりの文章を思い切って省くという友達の考えになるほどと思いました。文章の内容を別の同じ意味の言葉「気が散る」を使って短くまとめることができうれしかったです。		
		◇振り返りを交流し、本時の学びを資質・能力の視点で価値付け、次時につなげる。	

## 7 板書計画

